

テーマ：親の振る舞いについて考えてみましょう

ねらい

世の中の価値観が多様化して、どこまでが常識の範囲内なのか、迷惑と感じさせてしまうのか、その見えづらくなった基準についてみんなで考えてみます。

時間	主な活動	留意点
2	<p>【はじめに】</p> <p>「親としての常識」にも多様化の波が押し寄せて、どこまでが許されて、どこからが見過ごされないのか、明確な区別がつかなくなってきています。「子どもにとって望ましいことか？」や「他人に迷惑ではないか？」などが判断基準になってもいるようです。保護者の具体的な振る舞いを手がかりに考えてみましょう。</p>	
5	<p>【アイスブレイク（例）】</p> <p>①一重円に並ぶ。 ②ボールをもった人が、条件を設定（例えば、「赤いもの」）して、「トマト」といって次の人にボールを渡す。それを繰り返す。1周したら、次の条件で始める。 <u>準備物：ボール</u></p>	<p>①何も持たずに。 ②簡単なゲームであるが、結構緊張する。出てこなくて、ミスをしても笑い飛ばすような雰囲気づくりを心がける。</p>
8 10 5 5 5	<p>【アクティビティ】 <u>準備物：ワークシート</u></p> <p>①一重円を利用して4人グループ（G）に分かれる。自己紹介の後にワークシートの説明を聞き、個人作業に入る。 ②Gのランキングの一覧表をみんなで作る。なぜそう考えたのか、意見の違いや少数意見に配慮しながら進行する。合意形成は次段階となる。 ③Gの判定を確認し、ワークシートに書き込む。 ④ホワイトボードに全Gの結果を書き込む。 <u>準備物：ホワイトボード</u> ⑤代表的なところを選定し、発表する。</p>	<p>①「あなた」の下に本人の名前を書いてもらう。A～Dの記入が済んだら自由記述欄に進むよう指示する。 ②普段の振る舞いの振り返りや意見交流が大切である。話しやすい環境づくりに配慮する。 ③②の議論をまとめる。 ④記入枠を準備しておく。 ⑤時間を見ながら判断する。</p>
8	<p>【ふりかえり】</p> <p>①今日のワークショップで感じたこと・気づいたことをGで発表し、共有する。</p>	<p>①素直な気づきを話してもらうよう、声かけをする。</p>
2	<p>【まとめ】</p> <p>今日は、「親の振る舞い」について考えていただきました。社会で子どもを育てる際に、保護者が共通のルールやマナーを心がけることは重要です。人の思いに耳を傾けつつ、相互に理解を深めることは、信頼関係を築く上でも大切です。対立ではなく、共感を作り上げるためのコミュニケーションの場を大切にしましょう。</p>	